

ネイティブウサギ乳酸脱水素酵素

Cat. No. DIA-268

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 乳酸脱水素酵素（LDHまたはLD）は、ほぼすべての生物細胞（動物、植物、原核生物）に存在する酵素です。LDHは、ピルビン酸を乳酸に還元し、再び乳酸をピルビン酸に酸化し、NADHをNAD⁺に還元し、再びNAD⁺をNADHに還元します。脱水素酵素は、ある分子から別の分子に水素原子を移動させる酵素です。

別名 乳酸脱水素酵素; EC 1.1.1.27; LDH; LD

製品情報

種 ウサギ

由来 ウサギの筋肉

EC番号 EC 1.1.1.27

CAS登録番号 9001-60-9

分子量 140 kDa

活性 > 1mgあたり250ユニット

組成 LovellとWinzor（1974）は、テトラマーがアセテート-塩化物バッファーpH 5（牛心LDHに影響を与えない条件）で完全に2つのダイマー（分子量70,000）に解離することを報告しています。リン酸塩とピリジンヌクレオチドはテトラマーの四次構造を安定化させます。リン酸塩には活性化効果があります。ChoとSwainsgood（1973）も参照してください。

単位定義 1ユニットは、25°C、pH 7.3で1分あたり1マイクロモルのNADHを酸化します。